

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公表番号】特表2010-539315(P2010-539315A)

【公表日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-525357(P2010-525357)

【国際特許分類】

C 09 B 57/00 (2006.01)

C 07 D 471/04 (2006.01)

【F I】

C 09 B 57/00 C S P Z

C 07 D 471/04 102

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年10月29日(2014.10.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

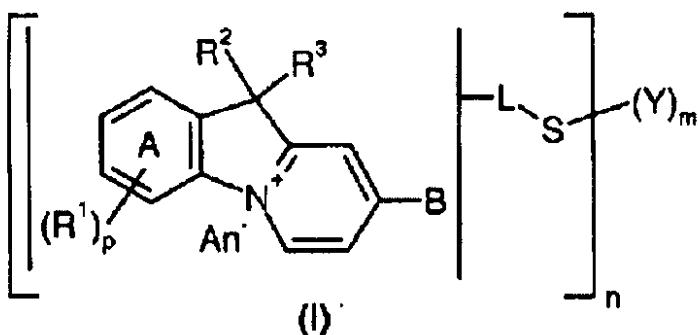
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(1)：

【化1】



[式中、

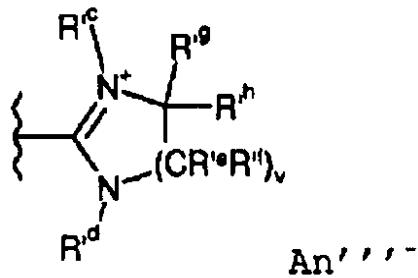
- mは、0を表し；
- nは、2を表し；
- pは、0乃至4の整数を表し；
- R¹は、ハロゲン原子、任意に置換された(C₁-C₆)アルキル基、または(C₁-C₆)アルコキシ、(C₁-C₆)アルキルチオ、ジ(C₁-C₆)(アルキル)アミノ、(C₁-C₆)ポリハロアルキル、ヒドロキシリル、(C₁-C₆)ポリヒドロキシアルキル、ポリヒドロキシ(C₁-C₆)アルコキシ、ニトロ、シアノ、R-G-C(G')-、R-C(G')-G-、R'S(O)₂-N(R)-、またはRR'N-S(O)₂-基を表し（ここで、GまたはG'は、同一であっても相違しても良く、酸素原子または硫黄原子またはNR'基を表し、さらに、R及びR'は、同一であっても相違しても良く、水素原子または(C₁-C₆)アルキル基を表す）；
- R²及びR³は、同一であっても相違しても良く、任意に置換された(C₁-C₆)アルキル基を表し；
- Bは、任意に置換されたヘテロアリール基を表し；

- Lは、-N(R_a)- ; -N⁺(R_a)(R_b)- ; An⁻ ; -NHCO- ; -NHSO₂- (ここで、R_a及びR_bは、同一であっても相違しても良く、水素、及び、(C₁-C₆)アルキル、ヒドロキシ(C₁-C₆)アルキル、または(ジ)(C₁-C₆)(アルキル)アミノ(C₁-C₆)アルキル基から選択され、An⁻は、アニオン性カウンターイオンを表す)から選択される1つの二価の基で、その一端または他端において、任意に置換、任意に中断、及び/または任意に終端された、二価のC₁-C₂₀炭化水素ベースの鎖であって；

- Yは、i)水素原子；ii)アルカリ金属；iii)アルカリ土類金属；iv)アンモニウム基：NR⁺R^cR^dR^e，An⁻、またはホスホニウム基：P⁺R^fR^gR^h，An⁻ (ここで、R^c、R^d、R^e及びR^hは、同一であっても相違しても良く、水素原子、または(C₁-C₄)アルキル基を表し、An⁻はアニオン性カウンターイオンである)；あるいはv)以下の基：

- (C₁-C₄)アルキルカルボニル；
- (C₁-C₄)アルキルチオカルボニル；
- (C₁-C₄)アルコキシカルボニル；
- (C₁-C₄)アルコキシチオカルボニル；
- (C₁-C₄)アルキルチオチオカルボニル；
- (ジ)(C₁-C₄)(アルキル)アミノカルボニル；
- (ジ)(C₁-C₄)(アルキル)アミノチオカルボニル；
- アリールカルボニル；
- アリールオキシカルボニル；
- アリール(C₁-C₄)アルコキシカルボニル；
- (ジ)(C₁-C₄)(アルキル)アミノカルボニル；
- (C₁-C₄)(アルキル)アリールアミノカルボニル；
- カルボキシル；
- 任意に置換されたアリール；
- 任意に置換されたヘテロアリール；
- 任意にカチオン性の、任意に置換された複素環アルキル、
- 下記の基：

【化2】



[式中、

R^c、R^d、R^e、R^f、R^g、及びR^hは、同一であっても相違しても良く、水素原子、または(C₁-C₄)アルキル基を表すか、あるいは、二つの基R^gとR^hとが、及び/またはR^eとR^fとが、オキソ基またはチオキソ基を形成するか、あるいは、R^gとR^hとが共にシクロアルキルを形成し；vは、1乃至3の整数を表し；An⁻は、アニオン性カウンターイオンを表し；

- イソチオウロニウム；
- -C(NR^cR^d)=N⁺R^eR^f；An⁻ (ここで、R^c、R^d、R^e及びR^fは、同一であっても相違しても良く、水素原子、または(C₁-C₄)アルキル基を表し、An⁻はアニオン性カウンターイオンを表す)；
- イソチオウレア；
- -C(NR^cR^d)=NR^e (ここで、R^c、R^d、及びR^eは、以上に定義される通りで

ある) ;

- 任意に置換された(ジ)アリール(C_1-C_4)アルキル；
- 任意に置換された(ジ)ヘテロアリール(C_1-C_4)アルキル；
- $-CR^1R^2R^3$ (ここで、 R^1 、 R^2 、及び R^3 は、同一であっても相違しても良く、ハロゲン原子または以下：

- (C_1-C_4)アルキル；
- (C_1-C_4)アルコキシ；
- 任意に置換されたアリール；
- 任意に置換されたヘテロアリール；
- $P(Z^1)R^1R^2R^3$ (ここで、 R^1 及び R^2 は、同一であっても相違しても良く、ヒドロキシル、(C_1-C_4)アルコキシ、またはアルキル基を表し、 R^3 は、ヒドロキシルまたは(C_1-C_4)アルコキシ基を表し、 Z^1 は、酸素原子または硫黄原子を表す)；
- 立体障害をもつ環基；並びに
- 任意に置換されたアルコキシアルキル

から選択される基を表す]

から選択される保護基を有するチオール官能保護基を表し、

- An^- は、アニオン性カウンターイオンを表す]

の蛍光染料、その有機もしくは鉱酸の塩、光学異性体、及び幾何異性体、並びに溶媒和物。

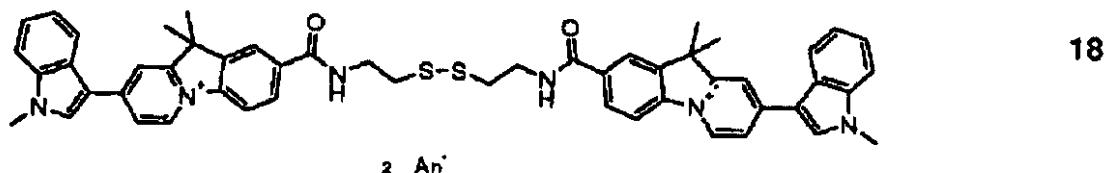
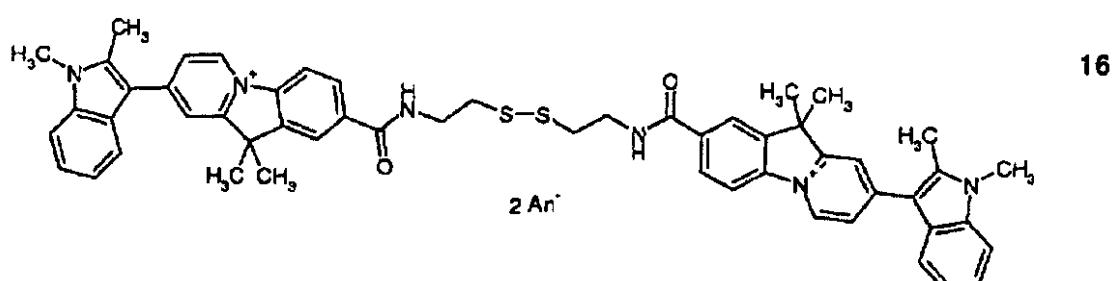
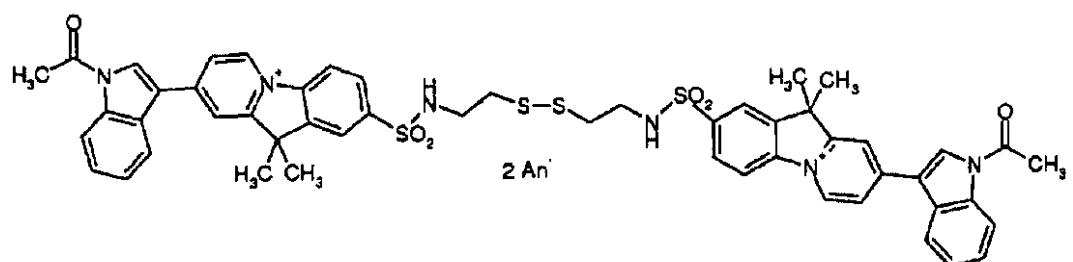
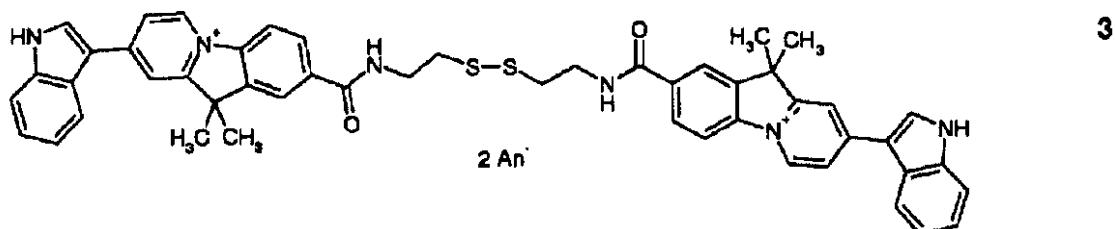
【請求項2】

R^2 及び R^3 は、同一であっても相違しても良く、 C_1-C_3 アルキル基を表す、請求項1に記載の式(1)の染料。

【請求項3】

下記の染料：

【化 3】



[ここで、 An^- は、同一であっても相違しても良く、アニオン性カウンターイオンを表す]より選択される、請求項 1 または 2 に記載の式(1)の蛍光染料。

【請求項4】

適切な化粧品媒質中に、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に定義される式(1)の蛍光染料を含む、染料組成物。

【請求項5】

適当な化粧品媒質中に、

- 請求項 1 乃至3のいずれか一項に定義される式(1)の少なくとも1つの蛍光染料；及び
 - 少なくとも1つの還元剤

を含む、請求項 4 に記載の染料組成物。

【請求項 6】

請求項4または5に定義される式(1)の少なくとも1つの蛍光染料を含む適切な染料組成物が、ケラチン物質に適用される、前記物質の染色方法。

【請求項 7】

ケラチン物質が、6以下のトーンを有する濃色ケラチン物質である、請求項6に記載のケラチン物質の染色方法。

【請求項 8】

第一区画に、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に定義される式(1)の蛍光染料を含む染料組成物を収容し、第二区画に還元剤を収容する、多区画デバイス。

【請求項 9】

6未満のトーンを有する、濃色のヒトのケラチン繊維を染色するための、請求項 1 乃至 3 に定義される、式(1)の蛍光染料の使用。

【請求項 10】

6未満のトーンを有する、濃色のヒトのケラチン繊維を明色化するための、請求項 9 に定義される、式(1)の蛍光染料の使用。